

お元気ですか日本共産党村議の

川崎あつ子です

(かわさき 篤子)



2011年 12月 4日 57

ご相談はお気軽にお寄せください

〒319-1106 東海村白方284-1 TEL/FAX 029-282-0229

E-mail atsuko-k@car.ocn.ne.jp



野菊

バックナンバーは「川崎あつ子」検索でお読みいただけます

## 子どもたちの体への影響が毎日心配

現在、村では放射線測定器の無償貸出を行なっています。

自分で測定が可能な方としていますが、ボランティアによる測定補助も行なっています。当面、来年3月31日まで継続するそうです。受け付けは、まちづくり国際化推進課です。

10月31日までに、測定器貸出者延べ人数は245人、1,114件の結果が報告されています。そのうちの138件は、村で定めた基準値【高さ50センチで0.25  $\mu$  Sv / H(マイクロシーベルト / 時間)]を超えています。その場所は、主に雨どい付近、側溝等です。

0.25  $\mu$  Sv / 時間)を超えた場合には、作業服、運動靴、軍手、マスク、帽子、タオル等を準備し、土壌の除去をしております。

除去方法は、【雨どい直下】・雨どいから直接流れ落ちる場合は、深さ約20~30cm、雨水の流水経路については長さ約50cm~1m、深さ5~10cmの土壌を除去。適宜、線量を測りながら流水経路に沿って必要な範囲を除去し覆土。50cmの高さで約2~4割低減されるそう

です。【側溝】・堆積している土砂等をショベル等で丁寧に除去し、土嚢袋等に入る。除去した土壌等の当面の処理方法は、敷地内に穴を掘り、ブルーシート等で養生して埋設(約40~50cmの覆土)。または、敷地内の一角をブルーシートで養生し、一時保管する。

○ 作業した後は、うがい手洗いを行う。  
○ 用具類は、使用後よく洗い、作業に使用した衣服等は洗濯。普通の洗濯で十分としています。

放射線被ばくの健康への影響は、「これ以下なら安全」という値はなく「少なければ少ないほど良い」ことになっています。汚染から子どもたちを守るには、徹底した調査、迅速な除染、万全な健康調査の実施が必要です。

私も計測器を購入し測定を始めました。気になるところがありましたら計測にあがります。川崎携帯：09 0-9017-3619 へご連絡ください。



12月議会が11月30日から12月13日の予定で始まりました。2011年第4回定例議会になりますが、議員4年間の任期満了となる最終議会です。この間、知事あての「東海第2原発は廃炉に」の署名を集めながら、いろんな話になります。主な声をお知らせいたします。

## 働いている人はどうなるの



「福島のことや東海村の避難のことを考えたら、村長さんが、廃炉を言ってくださるのはいいんだけど、働いている人たちの暮らしはどうなるんだろう。私も働いていたし、同僚のことを考えるとどうしたらいいのかわからない」また「息子が仕事で出張し、福島の避難所で仏壇を背に、いつ帰れるのかわからないと悲しみにくれているおばあさんの姿にひどく胸がいたんだ。そんな思いは、東海村で繰り返してはならないと思った。でも廃炉になったら、働いている人のことを考えると大変だと思う」などと、原発で働く人たちの生活は、どうなるんだろうと心を痛めておられる方々に出会います。こんな思いを抱かせる、事業所と国の責任の重大さを実感します。原発は、発電を続ければいつまでも冷やし続け、管理しなければならぬ核燃料廃棄物は燃えカスとして、増え続け残ります。こんな危険極まりないものを、安全だと作り続けてきた愚かなエネルギー政策は、もう切り替えるべきです。廃炉には、数十年かかり安全に処理するためにも、多くの人手が必要です。なにより暮らしに安全な自然エネルギー発電に切り替えることで、雇用も増えるのではないのでしょうか。



## 請願 審議未了に



11月30日の本議会において、「南台団地の震災復旧に関する請願」が、私の所属する「建設、経済、環境委員会」に付託されました。本議会後、委員会が開催され、請願をどう扱うかの審議が行われました。私は、「住民の深刻なご苦労を考えたら即決で採択にすべき」と主張しましたが、「大きな問題であり、その他にも同様の問題を抱えたところもある、公平性を考える十分な議論が必要」などの意見により、「審議未了」とすべきであると6:1(私)で結論づけてしまいました。「間もなく議員の任期切れであり、なぜ今頃出してくるのか、選挙がらみでは」などと住民の請願権の行使を否定するような驚く発言もありました。

南台団地は、1978年頃切り土、盛り土で造成され、今回の震災で盛り土部分の崩落や液状化でおよそ1割にあたる70世帯の家屋、宅地に被害が発生。このうちの半数が住居不能となり避難生活を余儀なくされています。これまで、住民のみなさんは被害現場の写真を見せ「村有の道路、法面が液状化し宅地も崩れ家屋に被害が出た」「住んでいる人は、すでに退職した高齢者が多く、住宅ローンが組めない」と国や県にも支援を求めてきました。

## 福島第1原発事故の影響と津波の影響を調査

11月23日、いわき市にお住まいの方の案内で、東海村から24名のみなさんと一緒に福島第1原発事故によって、立ち入り禁止になってしまった榎葉町まで、調査に行ってきました。久之浜町は、ぎっしりと家が立ならば商店街で、海があることもわからない町だったそうです。ところが、大津波に押し流されて、見渡す限り、土台しか残らない状態になっていました。合わせて福島原発から30キロ圏内です。そして、人口5,400人のうち300人しか戻れない街広野町を通過しました。その後、20キロ圏榎葉町入口の検問所前に到着しました。すぐそばには、かつてサッカーで賑わっていたJヴィレッジがありました。改めて同じことを繰り返してはならないと実感しました。

## 12月定例議会日程は

- 11月30日(水) 午前10時～ 開会
- 12月7日(水) 午前10時～ 一般質問
- 12月8日(木) 午前10時～ 一般質問
- 12月9日(金) 午前10時～ 一般質問
- 12月13日(火) 午前10時～ 議案審議



一般質問は、7日10:00～です。質問項目はこれまで皆さんから寄せられた8項目について行います。

- T P P交渉参加をやめさせる働きかけについて
- 福島原発事故の放射能汚染影響について
- 一部損壊修繕費への村独自策について
- 東海第2原発の再稼働について
- 太陽光発電システムの活用でまちづくりを
- 住宅リフォーム制度の創設の見通しについて
- N T T跡地の村所有の土地利用計画について
- 療育手帳Bの医療費助成について

傍聴にぜひお越しください。議会棟2階の議会事務局窓口で「傍聴人受付簿」に住所・氏名等を記載するだけで、どなたでも傍聴できます。また、村内各コミュニティセンターや総合福祉センター「絆」でもご覧になれます。



津波で土台しか残らなかった久之浜



20キロ圏内により立ち入り禁止榎葉町

# 日本を丸ごと売り渡す T P P (環太平洋連携協定) 断固反対 日本共産党

復興の最大の妨げに

食料安定供給壊す

暮らしの全分野が交渉対象に

日本経済衰退の道